

言葉、歌、音、光と影に
よって紡がれる物語。
「以前」と「以後」、
「上流」と「下流」、
「先祖」と「子孫」
— 不可逆とされる
大きな流れに
橋をかけ、穴を穿ち、
道を通す試み。

ク シ テ マユンキキ+ Mayunkiki+

国際芸術祭あいち2025
灰と薔薇のあいまに
Aichi Triennale 2025:
A Time Between Ashes and Roses

世界初演
World Premiere

2025

10/3 Fri 18:30

10/4 Sat 17:30

10/5 Sun 14:00

10/12 Sun 13:00 | 18:30

10/13 Mon, holiday 11:00 | 16:30

瀬戸蔵つばきホール
Setogura Tsubaki Hall

愛知県芸術劇場 大リハーサル室
Aichi Prefectural Art Theater, Large Rehearsal Room

マユンキキ+ Mayunkiki+

クシテ

kuste

世界初演・新作 World Premiere, New Commission

パフォーマンス Performance

音楽 Music

マユンキキがこれまで共演・共作を行ってきたメンバーとともに、奥三河の天竜川流域や北海道石狩川上流域でのリサーチを重ねた本作。タイトル『クシテ』とはアイヌ語で「(場所に) ~を通らせる」という意味の他動詞。出演者であるマユンキキとレクポの祖父であり、日本の鉄道敷設史上最大の難所の一つと言われた奥三河の三信鉄道(現JR飯田線)の開通に大きな功績を残した測量士、そして旭川アイヌのリーダーである川村カ子トの軌跡をたぐり寄せながら創作する。

協力：株式会社美濃加工紙、美濃市、吉野町教育委員会

マユンキキ+ 参加アーティスト

アペトゥンペ Apetunpe
(レクポ、マユンキキ)

アイヌの伝統歌「ウボポ」の再生と伝承をテーマに活動する女性ヴォーカルグループ「マレウレウ」のレクポとマユンキキの姉妹ユニット。アイヌ語で蛾を表すアペトゥンペはマレウレウ(蝶)では出来ない表現を追求し、この二人にしか出来ないウボポを発信している。

佐藤直子 Sato Naoko

桐朋学園大学音楽部卒業。クラシック、現代邦楽、ジャズ、民族音楽、ポップス、シャンソンと様々なジャンルを経てマルチパーカッショニストとして精力的に活動中。主に高木正勝、クミコなどアーティストのライブサポートや映画音楽等レコーディングに数多く参加。CANOPUS(Drums) エンドーサー。

瀬戸蔵つばきホール公演(10/3-5)に出演

西瓜兄妹 SUIKA KEIMAI
(廣瀬拓音、マユンキキ)

旭川アイヌメノコのマユンキキと、岐阜県出身の音楽家、廣瀬拓音による列島歌唱音響デュオ。ユニバーサルであろうとすると西洋的になり、ローカルであろうとするとエスニックでオリエンタルと呼ばれてしまう。この美にめんどくさい入れ子構造のパラドクスを解く鍵を模索する。

hoshifune ほしふね
(小谷野哲郎、わたなべなおか)

仮面舞踊家小谷野哲郎と、物語作家わたなべなおかによるユニット。自然、風土、伝統文化、夢などからイマジネーションを広げ、ものがたりを紡ぎ、影絵や仮面などを駆使して、多様なジャンルのアーティスト達と共に舞台作品化。主に日本やアジア各地でその土地の人たちと関わりながら生み出されるものを大切にしながら活動を展開している。

2025 10/3 Fri 18:30 ♣
10/4 Sat 17:30 ♣
10/5 Sun 14:00 ★♣

瀬戸蔵つばきホール
Setogura Tsubaki Hall

愛知県瀬戸市蔵所町 1-1
名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅下車、徒歩 5 分

★ミート・ザ・アーティスト

終演後、アーティスト等との対話の時間があります。

♣ リラックス・パフォーマンス公演

瀬戸蔵つばきホールでの公演では、全ての回で
リラックス・パフォーマンス公演を実施します。
途中退出や声出しOKなど、鑑賞マナーをゆるくした上演です。

♡託児サービスあり

上演時間：80min. (予定)

言語：アイヌ語、日本語

未就学児入場可

WHITELIGHT

「重力の束縛から魂を解放する」ことを目的として活動。手段として、マルチチャンネル音響設計、音源制作、オリジナルサウンドシステム開発を専門とし、商業施設から、コンサート、ライブ、演劇、美術の分野では鈴木昭男、吉増剛造、刀根康尚らの作品の音響設計を手がけるなど、音響環境の深化に取り組んでいる。2019 年から KOMAKUS 名義でも活動を開始。

マチュメ・ザンゴ Matchume Zango

モザンビーク、マプト出身。ショビ民族の木琴ティンビラのマスターであり打楽器奏者。国際的かつ多彩な音楽セッションの他、自国の先住民文化の実践に関する研究を含む多くのプロジェクトを運営している。

愛知県芸術劇場公演(10/12-13)に出演

山田大揮 Yamada Hiroki
(あやめ文技研 ayamelab)

テクニカルディレクター。さっぽろ天神山アートスタジオを経て、札幌文化芸術交流センター SCARTS にて主催事業などのテクニカルディレクションを担当したのち、株式会社あやめ文化技術研究所を設立。展覧会などの空間設計・施工、音響・照明・映像、技術監督、舞台監督を手がける。

※マユンキキは現代美術展にも参加します。(展示会場：愛知芸術文化センター)

10/12 Sun 13:00 ♡ | 18:30 ♡
10/13 Mon, holiday 11:00 ♡ | 16:30 ♡

愛知県芸術劇場 大リハーサル室
Aichi Prefectural Art Theater, Large Rehearsal Room

名古屋市中区東桜 1-13-2
地下鉄東山線または名城線「栄」駅下車、徒歩 3 分



English
available online

チケット

一般前売	U25前売	当日券	ペアチケット (前売のみ)	座席
¥ 3,500	¥ 2,000	前売 + ¥500	¥ 6,500	自由席

お得なセット券もあります。詳しくはこちら



取り扱い窓口

▶ アイ・チケット i ticket

<https://clanago.com/i-i-ticket>

TEL: 0570-00-5310

※ 車いす席をご予約の方は
上記までお電話ください

▶ チケットぴあ PIA

<http://t.pia.jp>

▶ Artsticker

<https://artsticker.app/events/76035>

▶ 愛知芸術文化センタープレイガイド

TEL: 052-972-0430

平日 10:00-19:00 土・日・祝 10:00-18:00
月曜定休(月が祝日の場合は翌日)

チケットに関する問合せ

クラシック名古屋 TEL: 052-678-5310 (10:00-16:00 土日祝休み)

国際芸術祭「あいち 2025」

テーマ：灰と薔薇のあいまに A Time Between Ashes and Roses

芸術監督：フール・アル・カシミ

[シャルジャ美術財団理事長兼ディレクター／国際ビエンナーレ協会 (IBA) 会長]

会期：2025年9月13日(土)～11月30日(日) [79日間]

会場：愛知芸術文化センター、愛知県陶磁美術館、瀬戸市のまちなか

主催：国際芸術祭「あいち」組織委員会

共催：愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)

助成：令和7年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業、(一財)地域創造
公益社団法人企業メセナ協議会 社会創造アーツファンド

国際芸術祭「あいち」組織委員会

〒461-8525 愛知県名古屋市中区東桜1-13-2 愛知芸術文化センター内

✕ AichiTriennale_

📷 aichi_triennale

📘 Aichi2025

📺 aichi_triennale

公式サイト
<https://aichitriennale.jp/>

